

香川県立中央病院

歯科口腔外科に赴任して



○講師 柚鳥宏和先生(香川県立中央病院歯科口腔外科 診療科長)

○座長 綾坂則夫先生(坂出市開業)

○ゲスト 三宅 実先生(香川大学医学部歯科口腔外科学講座教授)

記

◆ 日時:2024年6月29(土) 19:00~20:30

◆ 会場:ホテルマリソパレスさぬき
(高松市福岡町 2-3-4)無料駐車場有

◆ 参加費:会員 無料 未入会員 5,000円

◆ 定員:50名 会場 10名 WEB40名

zoomウェビナー利用

【略歴】

2003年 岡山大学歯学卒業
2003年 神戸大学病院歯科口腔外科研修医
2004年2005年 神鋼加古川病院(現加古川中央市民病院) 歯科口腔外科
2009年 神戸大学大学院医学系研究科修了 博士(医学)
2010年2013年 兵庫県立がんセンター口腔外科
2013年2016年 加古川中央市民病院歯科口腔外科
2017年2020年 長崎大学病院口腔外科
2020年2021年 宮崎大学口腔顎顔面外科
2021年2024年 岡山大学大学院医歯薬学域口腔顎顔面外科学
2024年4月 香川県立中央病院歯科口腔外科

専門医:日本口腔外科学会専門医・指導医
日本癌治療認定医(歯科口腔外科)
口腔がん専門医・指導医

【講師からのメッセージ】

この度は、貴重な機会を頂き、心より感謝申し上げます。

香川県立中央病院歯科口腔外科の柚鳥宏和(ゆとりひろかず)と申します。

本講演では、香川県立中央病院歯科口腔外科の人員構成や診療内容、最近の口腔外科を取り巻く諸問題(主に人手不足)についての取り組みをお話しさせていただく予定です。

私自身が口腔外科のサブスペシャリティとして取り組んできた口腔がん治療についてもお話しさせていただく予定です。また3月まで所属していました岡山大学口腔顎顔面外科の2大看板のひとつである顎変形症手術についても少しお話しさせていただきます。岡山大学口腔顎顔面外科では年間150例の顎変形症手術(抜釘を除く)を行っております。しかし、待機患者の待機期間が1年6か月と長期になっています。岡山大学口腔顎顔面外科は全国的に見ても屈指の症例数と待機期間を誇っております。また口腔がん手術も年間80-100例と全国屈指の症例数で、これ以上の顎変形症手術の増枠は難しい状況でした。

香川県立中央病院全体のミッションが「香川県下の3次医療の中心的役割を担う」ですので、歯科口腔外科も急性期医療に必須の周術期口腔機能管理、香川県下の口腔外科の2次医療3次医療を担っていきたいと思っております。

お申込は香川県保険医協会まで Fax 下さい Fax 087-802-1336

2024年6月29日歯科セミナー参加申込用紙

WEBでご参加の場合は下記からお申込みください

医療機関名

ご氏名

ご住所

 会場に参加 WEBで参加